

## 第3回協議会（計画関係）のご意見

## 1. 仙台市障害者保健福祉計画中間評価

頁	項目	ご意見	回答
2	Ⅱ 障害のある方を取り巻く現状について <u>身体障害者手帳所持者数の年齢構成比</u>	年齢区分は、療育・精神と同じ区分にした方がよい。（65歳からの介護保険適用問題と関連する点もあるので。）	療育・精神障害者と同様に、60～64歳、65歳以上の区分に修正しました。
6	基本方針1【実績等】 (1) 市民理解と相互交流の促進 <u>本文中</u> ◆主な実施状況◆ 表中	<整理番号7>福祉まつりウエルフェア参加者数 平成25年度に大幅に減少しているので、協議会で説明された理由（雨天・荒天のため）を書き加えてはいかがでしょうか。	次の文に修正しました。 (修正前)「当事者による講演活動や福祉まつりウエルフェアなどを通じて、」 (修正後)「 <u>また、平成25年度の福祉まつりウエルフェアは、雨天の影響もあり、参加者数が伸び悩んだが、各種事業を通じて平成24年度に引き続き</u> 」
7 ・ 8	基本方針2【実績等】 (1) 相談支援体制の強化 <u>本文中</u>	「精神保健福祉審議会では…実施した支援の集約を行った。」は、どのような形で集約を行ったのか、具体的に書いた方が解り易いと思います。	具体的な課題の整理等は今後行う状況ですが、25年度の実績として相談支援体制の強化につながる成果とは言い難いため、精神保健福祉審議会の内容を削除しました。
8	基本方針2【実績等】 (1) 相談支援体制の強化 ◆主な実施状況◆ <u>表中</u>	<整理番号23>子どもの「心のケア」 幼児健康診査時の問診調査人数 平成25年度が大幅に減少した理由は何ですか。（質問）	震災からの経過をふまえ、平成25年度は震災後に生まれた1歳6か月児を対象外としたためです。
		—	<整理番号25>難病医療相談会参加者数 各区保健福祉センターの実績を追加修正しました。 (修正前)平成24年度(15回),平成25年度 970人(15回) (修正後)平成24年度 (21回),平成25年度 <u>1,393人(35回)</u>

頁	項目	ご意見	回答
9	基本方針2【実績等】 (3)障害特性等に対応した支援の充実 ◆主な実施状況◆ <u>表中</u>	<整理番号52>難病サポートセンター相談件数 <整理番号65>入院時コミュニケーション支援利用者数 新規事業ではありますが、利用率の低いことが気になります。この評価はどのように考えていますか。(質問)	開始時期については、ともに年度当初ではなく平成25年11月となっているためであり、今年度は昨年度より増加傾向にありますので、今後も引き続き制度の周知を図り、利用の促進に努めていきます。
9	基本方針2【分析及び評価】 <u>本文中</u>	—	次の文に修正しました。 前文の「障害児・者」を削除しました。  「また、大震災での経験から、避難所で過ごすことが難しい障害のある方への災害時の対応についても、早急な整理と対策が必要である」は、災害関係のため、基本方針3【分析及び評価】に文章を移行修正しました。
10	基本方針3【実績等】 (1)地域で生活していくための環境整備 <u>本文中</u>	「近年新たに障害の範囲に加えられた…難病など」の力所は、特に難病は平成26年4月以降のことなので、中間評価(平成24～25年度)から外れるのではないのでしょうか。	障害者総合支援法は平成25年4月施行となっており、25年度実績に含まれることとなります。 なお、障害者総合支援センター開所以前より支援の取り組みを行っているため、次の文に修正しました。 (修正前)「障害の範囲に加えられた、高次脳機能障害や難病などの方に対しても専門的な支援を行った」 (修正後)「 <u>障害の範囲に加えられた難病や、高次脳機能障害などの方に対する専門的な支援の充実を図った</u> 」

頁	項目	ご意見	回答
1 1	基本方針3【実績等】 (3)災害を踏まえた災害対応の強化 <u>本文中</u>	災害時要援護者登録制度による障害者の登録者は何名ですか。 また、地域でのサポート体制はどの様に進められていますか。(質問)	障害者の登録者数は3,659名(平成26年9月末時点)登録者リストを基に地域で要援護者の方々の自宅を訪問し、支援者や避難方法等についての確認を行い、災害発生時には地域の支援体制に基づき、避難誘導などの支援活動を地域で行えるように、周知や働きかけを進めているところではあります。
1 2	基本方針3【分析及び評価】 <u>本文中</u>	—	9頁の基本方針2【分析及び評価】からの移行文及び下線文を含めて、「また、 <u>災害時要援護者避難支援プランの更なる周知を図るとともに</u> 、大震災での経験から、避難所で過ごすことが難しい障害のある方への災害時の対応についても、早急な整理と対策が必要である。」の文章を追加、併せて前後の文章表現を修正しました。
1 3 ・ 1 4	基本方針4 【実績等】(1)多様な就労による生きがいづくり <u>本文中</u> 及び【分析及び評価】 <u>本文中</u>	「授産製品」について、現在は「授産」という表現は使用しないと思いますので、別の表記に改めた方がよい。	公的な用語としては決まっていないようです。仙台市では、親しみやすい名称として「ふれあい製品」として修正標記しました。 なお、12ページは文章の流れから「就労支援施設等で作られた製品」と表現しました。 (修正前)「授産製品」 (修正後)13頁「 <u>就労支援施設等で作られた製品</u> 」 14頁「 <u>ふれあい製品</u> 」

頁	項目	ご意見	回答
13	基本方針4【実績等】 (1)多様な就労による生きがいづくり ◆主な実施状況◆ <u>表中</u>	<整理番号116>ふれあい製品フェア 参加施設数 <整理番号121>障害者職業能力開発 セミナー・推進会議等の開催件数 平成25年度が減少した理由は何ですか。(質問)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい製品フェアは、天候不順のため1回中止したため、参加施設数も減少しました。</li> <li>・障害者職業能力開発セミナー等は、平成24年度から市の単独事業となり、前年同様の開催には至らなかったためです。</li> </ul>
13	基本方針4【実績等】 (2)障害者就労支援体制の充実 ◆主な実施状況◆ <u>表中</u>	<整理番号124>障害者就労支援センターにおける支援件数 平成25年度が減少した理由は何ですか。(質問)	法定雇用率のアップに伴い、就労支援センターを利用せず直接ハローワークなどを通じて就労されている傾向があったと考えられます。
15	基本方針5【分析及び評価】 <u>本文中</u>	サービスの供給に関して、65歳から介護保険が原則提供されるが、一定の条件下でそれを超える部分や特有の障害者福祉サービスを利用できることと、それを確保することの必要性についても記述に加えてはいかがでしょうか。	次の文に修正しました。 (修正前)「利用者の拡大に向けて必要な見直しや改善などに取り組む」 (修正後)「 <u>福祉サービスの利用の仕方に関する適切な説明や周知を図る</u> 」

## 2. その他

項目	ご意見	回答
第3期仙台市障害福祉計画の平成25年度実績 (資料9)	直接事業か委託事業かを教えてください。 (質問)	協議会終了後に、参考資料で別途送付回答させていただきました。
	訪問系サービスのうち、⑤の重度障害者等包括支援の事業所の実績その他について、重度障害者等包括支援事業所はなかなか手がないと聞いていますが、全国的な傾向なのでしょうか。 (質問)	平成25年度の実績について、仙台市では給付費の支給実績はありませんでした。 なお、他の政令指定都市の状況につきましても、給付費の支給実績のない都市が多くなっております。 なお、平成26年4月における国保連のデータによりますと、全国の事業所数は9事業所、サービス利用者数は33人となっています。
	行動援護はどのくらい使われているものなのでしょうか。 どういう方が利用されているのでしょうか。 (質問)	行動援護は、知的障害・精神障害により行動上著しい困難がある者に対して外出時及び外出の前後にサービスを提供するものです。 平成26年3月時点の実績 利用者9名(月270時間) 一人あたりの平均時間 30時間
その他	FAX等で寄せられた意見票の協議会での共有がされていますか。 会議資料にて共有していただきたい。	情報共有は図っていきます。